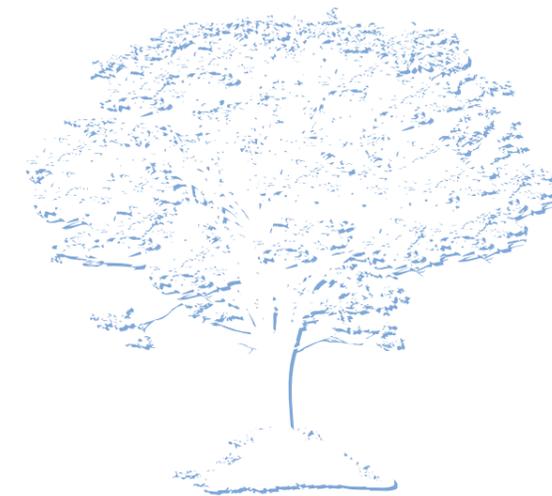
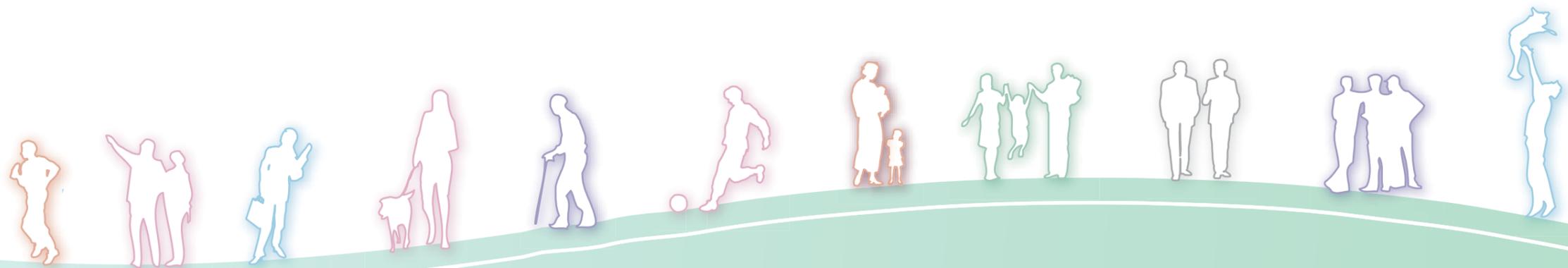


環境社会レポート 2009



OTSUKA



 Otsuka 大塚化学株式会社
Otsuka Chemical Co., Ltd.

お問い合わせ先
大塚化学株式会社 生産本部 総務課
〒771-0193 徳島県徳島市川内町加賀須野463
TEL:088-665-1516 FAX:088-637-1099
<http://www.otsukac.co.jp/>

大豆インキ

再生紙

大塚化学株式会社
Otsuka-people creating new products
for better health worldwide

編集方針

大塚化学株式会社は、旧大塚化学株式会社と大塚化学ホールディングス株式会社の合併により、2009年6月30日に発足しました。「大塚化学株式会社 環境社会レポート2009」は、新会社として初めて発行するレポートです。

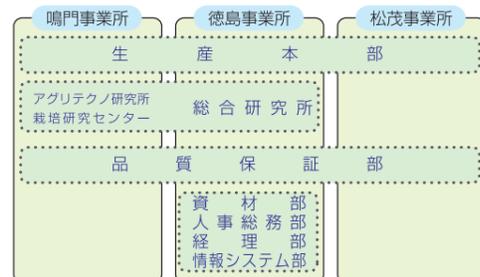
このレポートは、大塚化学株式会社の環境保全活動の実績と、社会的責任に関する情報を多くの皆様にご理解いただくだけでなく、我々社員自身もこれらの理解を深めることを目的に、次の方針のもとに作成しました。

- 大塚化学株式会社が事業活動を行っていく上で、どのように考え環境や社会への取り組みを行っているか、社外の多くの関係者の方々に理解していただく。
- 従業員が、環境や社会的責任に関して更に取り組んでいける企業風土の醸成を支援する。
- 今後、大塚化学株式会社が事業活動を展開していく上での意思決定、適正経営資源配分への基礎情報として活用する。

対象範囲

このレポートは、大塚化学株式会社の国内外の各事業所、工場および研究所の活動実績をもとに作成しています。但し、環境パフォーマンスの集計対象範囲は主要生産工場を含む3事業所(徳島事業所、松茂事業所、鳴門事業所)としています。

その他、データの集計範囲が異なる場合はその項目に記載しています。



- 対象期間
データおよび活動状況は2008年度(2008年4月1日~2009年3月31日)を中心に過去5カ年の実績です。また、発行までの最新情報についても記載しています。
- 発行時期
2009年9月(次回発行は2010年8月予定です)
- 参考指針
本レポートは、環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」を参考としました。
- アンケートのお願い
次回発行するレポートをより良いものにするために、アンケートによるご意見・ご感想を下記編集担当部署までお寄せください。
- 生産本部 総務課
TEL 088-665-1516 FAX 088-637-1099

目次

読者の皆様へ	1
会社概要	2
企業理念、品質・環境・安全衛生方針	3
事業概要	4
製品概要	6
環境保全活動報告	
トピックス	8
環境目標と実績	9
インプット・アウトプットの物質収支	10
環境マネジメント	12
環境マネジメント推進体制	12
環境マネジメントシステムの運用	12
環境監査	13
環境教育	14
緊急事態への対応	14
法令遵守	15
公共用水域のモニタリング調査	15
化学物質管理	16
PRTR制度対象化学物質	16
ダイオキシン類の発生抑制	16
環境省有害大気汚染物質調査への協力	16
大気へのばい煙排出量改善	17
省エネ・省資源への取り組み	18
事業活動に関する環境データ	18
大塚グループ徳島今切地区における燃料転換について	19
省エネルギー及びローカーボン活動	20
物流における環境配慮	20
グリーン購入・調達	20
廃棄物の管理、リサイクル状況	21
新技術、製品の環境配慮	22
グループ企業の環境管理	23
社会的取り組み報告	
コンプライアンス	24
地域社会との繋がり	26
サイトレポート	
徳島事業所	28
鳴門事業所	29
松茂事業所	30
主な環境指標の推移	31
環境省「環境報告ガイドライン2007年版」との対照表	32
アンケート結果	33

読者の皆様へ

2009年6月30日、大塚化学株式会社は親会社である大塚化学ホールディングス株式会社と合併し、社名を大塚化学株式会社として新たなスタートを切り、7月1日株式交換により大塚ホールディングス株式会社の100%子会社となりました。

当社は、健康・環境・快適生活の3つのキーワードを軸に、化学製品およびアグリテクノ事業の研究開発・製造を行っており、幅広いニーズにお答えした優れた素材、製品を皆様にお届けしています。大塚ホールディングス株式会社の企業理念である「Otsuka-people creating new products for better health worldwide」、また、当社の企業理念である「私も信頼、会社も信頼 信頼は社会の夢 技術と心で信頼の構築 信頼と人の輪を世界に広げよう」を心に、独自の技術開発を基盤とするメーカーとして皆様の健康で快適な生活を支えていきたい、それが大塚化学の願いです。

今、世界はかつてない転換の時期をむかえています。2008年度は、原油価格の高騰、米国に端を発する金融危機と世界経済の低迷など、我々企業にとって厳しい一年となりました。

しかしながら、環境分野に目を向けると、温暖化の進行や災害の多発、生態系の破壊、廃棄物量の増大や化学物質汚染など様々な問題が発生しており、環境保全のための取り組みが、国や地域、所属の枠を越えて我々一人一人が取り組むべき重要な課題であることに変わりはありません。かけがえのない地球環境を将来世代へと継承していくために、当社も社会経済の様々な問題を契機として事業活動のあり方を見直し、長期的な視野に立った環境保全活動に取り組んでいく必要があります。

当社では「環境」のキーワードのもと、省エネルギーの推進や環境負荷の低減、環境配慮型の体制づくりなどの取り組みを積極的に推進しています。

省エネルギーの推進と環境負荷の低減では、2007年に導入したガスタービン・コージェネレーション施設の稼働により、昨年度に引き続きCO2排出量が削減できております。今年度は更にグループ各事業所への蒸気供給に取り組み、グループ全体でのCO2排出量の削減を目指します。

環境配慮型の体制づくりでは、主要事業所である徳島事業所、鳴門事業所、松茂事業所、海外事業所であるP.T.Lautan大塚ケミカル(インドネシア)に加え、本年2月には、張家港大塚化学有限公司(中国)においてもISO14001認証を取得いたしました。これらの認証取得を新たな契機ととらえ、今後も継続的な改善に努めてまいります。

また、昨年実施された徳島県の「環境首都 あどぶと・エコスクール」、「とくしま環境県民会議 CO2削減 通勤時交通社会実験」などの事業に参加しており、これからも地域の皆様との繋がりを大切に環境保全活動を進めてまいります。

また、近年は、企業の事業活動における環境配慮が求められる一方で、CSR(企業の社会的責任)への取り組みが重要視されています。当社は、お客様、株主、社員、地域の方々に真に信頼されるよう、法令を遵守し、社会規範を尊重した企業倫理と行動指針に基づいた社内体制を整備し、コンプライアンスの推進に取り組んでまいります。

本レポートでは、当社の環境保全活動、社会的取り組みを紹介しています。当社では皆様とのコミュニケーションをとって、これらの取り組みをさらに充実させていきたいと考えております。一人でも多くの方々にお読みいただき、当社についてのご理解を賜るとともに、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



2009年9月
大塚化学株式会社 代表取締役社長

戸部 貞信



「健康」、「環境」、「快適生活」
3つのキーワードを軸に事業活動

商号 大塚化学株式会社 Otsuka Chemical Co.,Ltd.
所在地 〒540-0021 大阪市中央区大手通3丁目2番27号
TEL 06-6943-7701(大代表)
設立 1950年8月29日
 (2009年6月30日付にて、持株会社であった大塚化学ホールディングス株式会社が、子会社の大塚化学株式会社を吸収合併し、同日付で社名を大塚化学株式会社に変更し、現在に至る)
資本金 50億円
従業員 1,792名(連結)、741名(単体)
代表取締役社長 戸部 貞信

事業内容(主要品目)

- 化学用品
 - 無機塩類、ヒドラジン誘導体、発泡剤、重合開始剤、チタン酸カリウム繊維、樹脂複合材料、難燃剤、医薬中間体、防錆剤、洗浄剤、消臭剤、その他
 - 農業肥料
 - 農業(殺虫剤、殺菌剤、除草剤、植物成長調整剤)肥料(養液栽培用、園芸追肥用、ゴルフ場用、葉面散布)
 - その他養液土耕栽培システム、家庭園芸用品
 - オロナミンC
- 事業所**
 支店・出張所 仙台、東京、名古屋、大阪、九州、札幌、四国
 工場 徳島工場、鳴門工場、松茂工場
 研究所 総合研究所、アグリテクノ研究所、栽培研究センター、糖鎖工学研究所
 海外事務所 スペイン(バルセロナ)、アメリカ(ニューヨーク)、中国(上海)

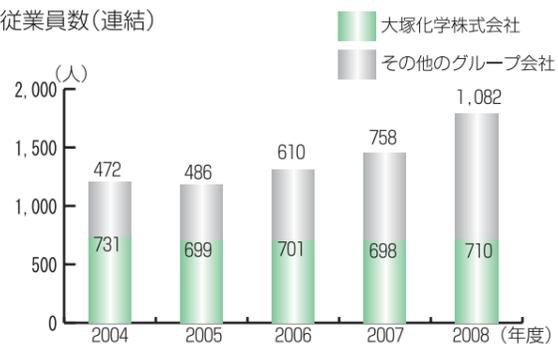
事業所住所・TEL

- 徳島事業所 〒771-0193 徳島県徳島市川内町加賀須野463
TEL 088-665-1516
- 鳴門事業所 〒772-8601 徳島県鳴門市里浦町里浦字花面615
TEL 088-684-2266
- 松茂事業所 〒771-0213 徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-40
TEL 088-699-7980

グループ会社

- ・エムジーシー大塚ケミカル(株)
- ・K.O.C. Co., Ltd.(韓国)
- ・P.T. Lautan 大塚ケミカル(インドネシア)
- ・Hebron S.A.(スペイン)
- ・張家港大塚化学有限公司(中国)
- ・Otsuka Chemical India Ltd.(インド)
- ・重慶化医大塚化学有限公司(中国)
- ・TROCELLEN Iberica S.A.(スペイン)
- ・Otsuka Chemical do Brasil(ブラジル)
- ・I L S(株)
- ・American Peptide Company, Inc.

従業員数(連結)



合併前の大塚化学(化学品および農業肥料事業のみ)のデータです。

売上高(連結)



合併前の大塚化学(化学品および農業肥料事業のみ)のデータです。
 ※1 2005年度は決算期変更につき、売上高は6ヶ月分を表示しています。



本社



徳島事業所



鳴門事業所



松茂事業所

企業理念

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

私も信頼、会社も信頼
 信頼は社会の夢
 技術と心で信頼の構築
 信頼と人の輪を世界に広げよう

品質・環境・安全衛生方針

大塚化学徳島工場・鳴門工場・松茂工場、及び、これらに関連する研究開発部門は、当社の企業理念である「信頼の構築」のもと、美しく豊かな瀬戸内海の自然環境と伝統文化の息づく阿波の地で、健康/環境/快適生活に貢献するオンリーワン製品作りの実現を目指し、次の活動を推進します。

1. 品質・環境・安全衛生に関連する法令・規制・協定などを遵守します。
2. 顧客の品質要求事項や満足の上を目指すとことの重要性を認識し、各業務に関連するマネジメントシステムの運用を図ります。
3. 各マネジメントシステムの維持管理を通じ、要求事項への適合及びシステムの継続的な改善を図り、不適合品や顧客クレームの発生を低減し、適正品質と環境汚染・労働災害の予防を含めた安全かつ安定した操業体制を実現します。

○この「方針」を達成するために「目的・目標」を設定し、継続的な改善に取り組みます。また、この「方針」の適切性を持続させるために、設定した「目的・目標」と共に必要に応じた見直しを行います。

○本方針を当組織全体に周知すると共に、一般に開示いたします。



大塚化学は、「健康・環境・快適生活」のキーワードを軸に3つの事業部で皆様のニーズにおこたえできる製品を提供しています。機能化学品事業部では快適生活を、ファインケミカル、アグリテクノ事業部では健康をキーワードにして、全ての事業部で環境にやさしい製品作りを目指しています。



機能化学品事業部 (1)

ヒドラジン及び有機合成技術を軸に、各種ヒドラジンの誘導体や、発泡剤、アゾ系重合開始剤を開発、企業化。顧客の幅広いニーズに対応できる機能化学品を提供しています。(水加ヒドラジンはエムジーシー大塚ケミカル(株)が製造販売しています。)

■主要製品

- ユニフォームAZ (樹脂発泡剤)
- AIBN、ADV、AMB、ACVA (アゾ系重合開始剤)
- 水加ヒドラジン (脱酸素剤、金属還元剤、医薬原料)
- 無機化学薬品 (硝酸カリ、塩化カリ、塩化ナトリウム、臭化物)
- 防錆剤 (防錆剤、洗浄剤、金属表面処理剤)
- 各種ヒドラジン誘導体 (ヒドラジン塩類、ヒドラジド化合物、ヘテロ環化合物など)
- 樹脂添加剤 (架橋剤、硬化剤…ADH、APA)
- 環境分野 (ケムキャッチ…ホルマリン化学吸着剤)



シューズのソール
ユニフォームAZ用途例



エアコンの断熱パイプ



機能化学品事業部 (2)

自動車、IT分野の加工、精密部品をはじめ、有機材料分野、無機材料分野ともに特徴ある「素材・複合材料」の研究開発ならびに製造を行っています。

■主要製品

- ティスモ (チタン酸カリウム繊維)
- テラセス (リン片状チタン酸塩)
- ポチコン (樹脂複合材料)
- テラウエイブ (誘電性複合材料)
- UVA (紫外線吸収剤)
- ホスファゼン (難燃剤)



自動車のディスクブレーキパッド



ファインケミカル事業部

独自の開発で蓄積した技術をベースに、各種医薬用中間体、医薬品原薬、高付加価値化学品を研究開発・製造しています。

■主要製品

- GCLE (セファロスポリン系抗生物質中間体)
- 芳香族関連化合物 (医薬品中間体)
- ピロマトール (食品添加用合成香料)

アグリテクノ事業部

世界の作物保護に役立つ独創的な農薬を、合成から安全性の研究まで一貫した体制で研究開発。さらに農業の収益性向上や安定化、環境問題にも配慮した栽培技術の研究開発も展開しています。

■主要製品

- オンコル、ハチハチ (殺虫剤)
- 大塚ハウス肥料
- 養液土耕栽培システム



イチゴの高設栽培
(養液土耕栽培システム利用)



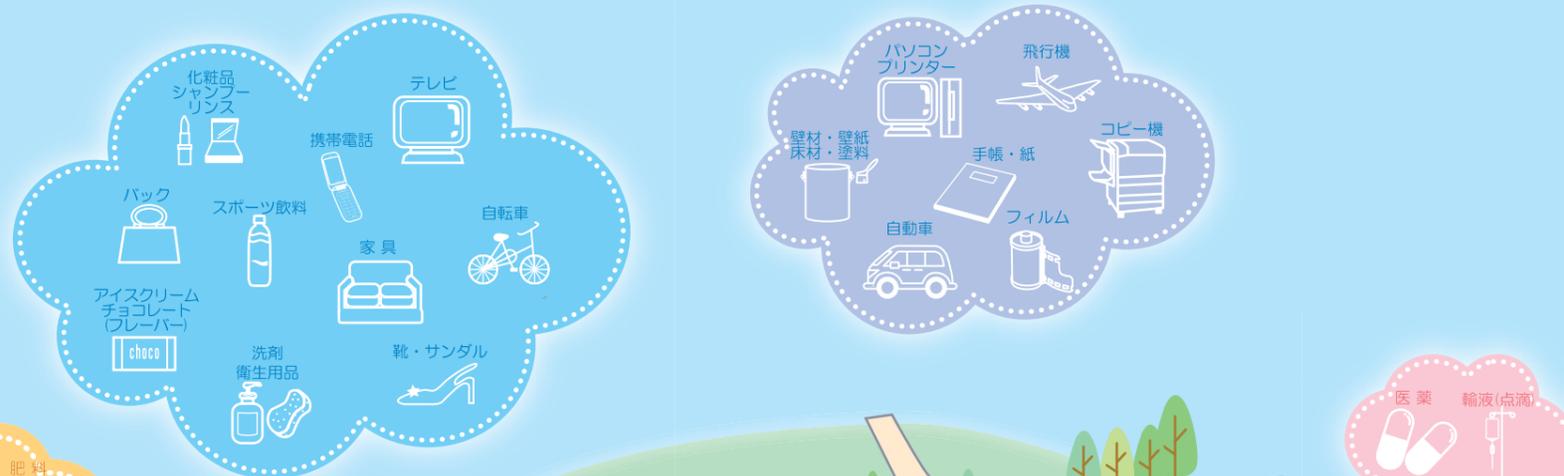
養液土耕栽培システムによる
メロンの試験栽培



さまざまなシーンで、大塚化学の製品が使われています。

健康を支え、環境に配慮し、快適生活をお届けするために大塚化学は活動しています。

はじめは大塚製薬工場の化学品部門が独立し、硝酸カリやヒドラジン等の製造を行ってきました。現在では、エアコンの断熱パイプ(ユニフォームAZ)や自動車のディスクブレーキパッドなど、見える製品から、GCL E(セファロスポリン系抗生物質中間体)やピロマトール(食品添加用合成香料)など目に見えないところで使用される製品まで、さまざまなところでご使用いただいています。大塚化学の製品は時代とともに進化し、皆様には選ばれる製品を提供していきます。



PICK UP

硝酸カリウム

スーパータブレット

古くから黒色火薬原料として使用されている硝酸カリウムは、大塚化学の中でも最も歴史ある無機化学製品の一つです。大塚化学が製造している「硝酸カリウム」は、強化ガラス、耐熱ガラス、電子機器用ガラスの製造に用いられたり、金属熱処理用触媒、食品加工、肥料や試薬から知覚過敏用歯磨きなど、多岐にわたり使用されています。

大塚化学「硝酸カリウム」のグレードには、納入先様の製造事情やご要望に合わせて、工業用(結晶、特製結晶、細粉、特製細粉)や食品添加物がありますが、大塚化学では、これらに加えて消防法の危険物に該当しないタブレット状の「硝酸カリウム」を製造しており、使用先様より幅広いご支持をいただいています。

硝酸カリウム スーパータブレットの特徴

- ・ 固化しにくく取り扱いが容易
- ・ 消防法非危険物



包装単位: 25Kg
50Kg